



「さあ行くぞ!!」
「オオーツ!!」
～待望の部活動再開～

Contents

- 中心市街地活性化基本計画のフォローアップ... 2～3
- 西一小の増築校舎が完成 ほか... 4～5
- 6月市議会定例会 ほか... 6～7
- くらしの情報 ほか... 8～11
- みんなのひろば、まちの話題... 12～15

広報すかがわ
令和2年7月号 No.946

須賀川市 須賀川市八幡町135
〒962-8601 福島県須賀川市
☎0248(75)1111
https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/



300万光年をつなぐ姉妹都市
須賀川市は、ウルランソンの故郷 M78星雲
[この国]と姉妹都市を提携しています。
©中谷カヲ

発行：須賀川市
編集：企画政策部秘書広報課
印刷：南和田印刷



博物館夏季企画展―博物館開館50周年記念企画 帰ってきた 阿武隈考古館展

7月23日(木)～9月6日(日)

博物館は、今年で開館50周年を迎えます。夏季企画展では、首藤保之助が本市に寄贈し、当館収蔵資料の核となった「阿武隈考古館コレクション」を一堂に展示し、往時の姿を再現します。

首藤保之助と阿武隈考古館

首藤保之助(明治20～昭和43年)は、須賀川に生まれ、東京で小学校教師をしながら全国の遺跡を訪ねて考古資料

を収集した人物です。

昭和12年、玉川村に「阿武隈考古館」を設立し、資料を一般に公開していました。これらの資料を後世に伝えるため、昭和33年、約5万点に及



首藤と阿武隈考古館



白滝遺跡採集打製石器 奈良県橿原市採集石包丁



当時の阿武隈考古館内部



小田原城採集軒丸瓦

ぶ資料の保存・展示施設を整備することを条件に、本市に寄贈したことがきっかけとなり、昭和45年8月1日に開館したのが市立博物館です。

この夏は首藤先生自慢のコレクションが、皆さんを全国の遺跡巡りにご案内します。

展示構成

- ① 帰ってきた阿武隈考古館
―集める・みせる・伝える―
博物館の原点―
首藤が全国の遺跡から採集した考古資料
- ② 現代にいきる首藤コレクション―
団子山古墳発掘調査とその成果―
福島大学と共同で発掘調査を行っている団子山古墳(日照田地区)で昨年出土した

わたしたちの博物館 誕生日おめでとう ～博物館とプレゼント交換しよう～

現代から未来へ贈る博物館資料として、あなたの写真を募集します。
「100年後の人に見てほしい令和のくらしの写真」の提供者に、記念グッズを差し上げます(1人1点、無くなり次第終了)。
期間 7月23日(木)～9月6日(日)

こんな写真をご提供ください



- 撮影日・場所・撮影者が分かるもの
- 印画紙にプリントしてあるもの(サイズを問わず、カラー・モノクロどちらも可。ただし加工していないもの)
- 保存・公開・活用に差し支えないもの(被写体や撮影者が公開を承諾しているもの)
- 著作権や肖像権を侵害しないもの など

写真は、博物館資料として保管し、令和時代初期の須賀川の生活を知るための資料として、将来、公開・活用する予定です。

表紙紹介

新型コロナウイルス感染症の影響で休止していた部活動が再開しました。第一中を訪れると、野球部員たちが久しぶりの部活動に汗を流し、仲間たちと再び走りだしました。

市ホームページ



マチイロ



広報すかがわ



市Facebook

